

気仙沼市新規採用職員研修に協力しました（2022/1/17）

テーマ：災害伝承，気仙沼市
場所：気仙沼市役所（宮城県気仙沼市）

1月17日（月），気仙沼市「令和3年度第2回新規採用職員研修」が気仙沼市役所内で開催されました。本研修は，気仙沼市役所の人事課，危機管理課のほか，気仙沼市の復興業務を支援してきた三菱UFJリサーチ&コンサルティング（担当：秋元康男主任研究員）と当研究所の佐藤翔輔准教授（防災社会推進分野）が，企画・運営に携わりました。本研修は，東日本大震災時の対応の教訓等を職員間で伝承することをねらいとしました。震災発生から10年以上が経過し，震災後に採用された職員が増え，全体の約3割を占めるなか，当時の経験を伝える機会を設けることで，教訓等を生かした災害対応ができる人材を育成するため行うものです。

今回は本年度の新規採用職員を対象に「避難所開設と運営」をテーマとして行い，受講者は「東日本大震災 災害対応記録集」と「避難所開設・運営マニュアル」から事前に課題や懸念事項を整理し，研修当日に震災当時の危機管理課職員の講話やグループワークを通じて自らの課題を解決するかたちで実施しました。佐藤翔輔准教授は，研修に対する全体講評も行いました。

研修前日に，トンガ噴火津波で実際に避難所開設を行った受講者がいたこともあり，グループワークは大変熱気のこもったものになりました。受講者からは，災害が起きる前に，業務や個人としてできること，について積極的な発言がありました。



会場の様子



グループワークの様子

文責：佐藤翔輔（防災実践推進部門）